

# ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年3月5日～3月11日)

平成 27 年(2015 年)3 月 13 日

H E A D L I N E S

## 政治

- ・コモロフスキ大統領, 選挙集会を開催
- ・コモロフスキ大統領, EU・ウクライナ連合協定を批准
- ・スヘティナ外相, ドイツを訪問
- ・スヘティナ外相, ハモンド英国外相と会談
- ・スヘティナ外相, EU非公式外相会合に出席
- ・コモロフスキ大統領, スロバキア大統領と会談
- ・コモロフスキ大統領, バイデン米副大統領と電話会談
- ・ウクライナとの地域安全保障に関する協力合意書に署名
- ・リトアニアとの軍事協力
- ・ポーランド軍人の派遣及び武器供与についての立場
- ・国防省及び国防軍の会合開催

## 経済

- ・対ロシア制裁に拘わらず輸出が増加
- ・中央銀行, 2015-2017年の平均成長率を3.4%と予測
- ・1月の輸出は4.4%増
- ・2月の新車登録台数は前年比約10%の落ち込み
- ・ゾルタックス社3Dプリンターの市場は49か国に
- ・1月の自動車生産は好調
- ・ポーランドのビジネスサービス部門は世界有数の規模
- ・NGKセラミックスポーランド, 第二工場を建設
- ・エネルギー同盟構想に前向き
- ・米企業が商業規模での天然ガス抽出に成功
- ・2013年の最終エネルギー消費に占める再生可能エネルギーのシェアは11.3%
- ・大統領が再生可能エネルギー法に署名

## 大使館からのお知らせ

- ・ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起
- ・大使館広報文化センターの開館時間について
- ・東日本大震災義捐金受付について
- ・文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696

5000[http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！  
問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

## 政 治

## 内政

コモロフスキ大統領、選挙集会を開催【7日】

5月10日に実施予定の大統領選挙に関し、2月4日のシコルスキ下院議長による大統領選挙実施日の発表以降、現職のコモロフスキ大統領、最大野党「法と正義」(PiS)のドゥダ候補を中心に選挙活動が繰り返されているが、7日、コモロフスキ大統領は、

大規模な選挙集会を開催し、「合意と安全を選ぼう」というスローガンと共に、農業及び若者向けの開発プログラム、イノベーション企業への支援等の政策を打ち出す形で、本格的な選挙キャンペーンを開始した。

## 外交・安全保障

コモロフスキ大統領、EU・ウクライナ連合協定を批准【5日】

5日、大統領府は、コモロフスキ大統領がEU・ウクライナ連合協定を批准した旨を発表した。昨年12月17日、コモロフスキ大統領は、大統領に同連合協定の批准権限を与える法案への署名を行っていた。

ると共に、会談を行った。同会談では、両国間の道路・エネルギー・インフラへの共同投資、V4協力、ウクライナ紛争に関連するEU情勢につき意見交換が行われた。

スヘティナ外相、ドイツを訪問【5日】

5日、スヘティナ外相はベルリンを訪問し、シュタインマイヤー独外相と会談を行い、主にウクライナ情勢及び右情勢に関する欧州の統一の立場に関し意見交換した。スヘティナ外相は、会談後に、我々はミンスク合意の遵守に完全に満足することはできないが、ドンバス地域における衝突の数が減少したことには同意する、我々はミンスク合意の各事項の効果的な履行を求めており、シュタインマイヤー外相の取り組みを支持している旨述べた。

コモロフスキ大統領、バイデン米副大統領と電話会談【9日】

9日、コモロフスキ大統領はバイデン米副大統領と電話会談を行い、主にロシア・ウクライナ紛争、ウクライナ情勢及びポーランド・米国関係につき意見交換した。両首脳は、ロシア側による紛争の更なる激化が更なる(対露)制裁の可能性を伴うものとなるとの認識を共有した。また両首脳は、将来的なシフィノウィンチェ・ガス・ターミナル(注:ポーランド北西部)における米国LNGの輸入の可能性を含む二国間エネルギー協力の展望についても意見交換した。

スヘティナ外相、ハモンド英国外相と会談【6日】

6日、スヘティナ外相は、ワルシャワにてハモンド英国外相と会談を行い、ウクライナ情勢及びEUの将来を中心に意見交換した。ウクライナ東部の紛争に関し、両国外相は、ミンスク合意の遵守に関する要求を含め、EUがロシアに対して結束した立場を毅然と示す必要性を強調した。EUの将来に関し、両国外相は、EUがより競争力を持ち、21世紀の課題に対応できるよう、更なる改革を行っていく必要性を強調した。

ウクライナとの地域安全保障に関する協力合意書に署名【6日】

5日、ワルシャワにてトゥルチーフ・ウクライナ国家安全保障・国防会議(RNBO)書記とコジェイ長官は、地域の安全保障の危機に直面してパートナーシップを統合する協力合意に署名を行った。同合意内容では、戦略の草案作成及び安全保障・防衛政策のレビューを行う際に互いの相談及び経験を共有することができるようになる。訪問中、トゥルチーフ・ウクライナ国家安全保障・国防会議(RNBO)書記は、コモロフスキ大統領及びコパチ首相とも面会を行い、対ウクライナ支援について協議した。

スヘティナ外相、EU非公式外相会合に出席【6日・7日】

6日・7日、スヘティナ外相は、EU議長国ラトビアの首都リガで開催されたEU非公式外相会合に出席した。同会合では、リビア紛争の解決、ウクライナ問題及び対露政策における協調、EU加盟候補国との会合、欧州近隣政策の改革等につき意見交換が行われた。

リトアニアとの軍事協力【6日】

4-5日にゴツウ・ポーランド軍参謀総長当国がリトアニアを訪問し、ジューカス・リトアニア軍司令官と両国のハイブリット戦争に対する準備について協議した。また、ジューカス・リトアニア軍司令官は、ロシア・ウクライナ紛争に関係して、今秋から再開される計画である徴兵制で徴兵された兵士は、リトアニア国外の国際ミッションには参加しない旨述べた。

コモロフスキ大統領、スロバキア大統領と会談【8日】

8日、コモロフスキ大統領は、キスカ・スロバキア大統領と共にポーランド・スロバキア国境地域で開催されたクロスカントリー・スキーの開会式に出席す

ポーランド軍人の派遣及び武器供与についての立場【8日】

シェモニャク副首相兼国防相は、ウクライナの下士官をポーランドで訓練するため協議を開始するが、

ポーランド兵をウクライナには派遣しない。ポーランド側は、両国の兵器産業の協力に関心があるが、現状では、現行の紛争に対し、ポーランドが武器の供与を伴った関与をする計画はないと述べた。

当国の防衛関係者の他、フォン・デア・ライエン独連邦国防相が招待され会議が開催され、軍事技術の近代化の継続、本年度の国防予算を320億ズロチ（約10.7億円）への増加、ポーランド国内で実施されるNATO合同演習のため約1万の外国人兵士の受け入れ、NATO北東司令部の強化等について協議された。

**国防省及び国防軍の会合開催【11日】**

11日、ワルシャワにおいて、コモロフスキ大統領、コパチ首相及びシモニヤク副首相兼国防相をはじめ

**経 済**  
**経済・財政政策**

**対ロシア制裁に拘わらず輸出が増加【5日】**

ロシアの農産品禁輸措置によりロシア向け農産品・食料品輸出は30%減少したにも拘わらず、アジアやアフリカの新市場を開拓したことにより、結果として2014年の農産品・食料品輸出総額は過去最高となる210億ユーロ超となった。アフリカ諸国向け輸出の伸びが大きく10億ユーロを超え、アジア諸国でも香港向け豚肉輸出が114%増加している。

中央銀行が最新の経済観測を発表し、2015-2017年の平均経済成長率を3.4%、インフレ率は目標値の2.5%を依然として下回ると予測した。前期7カ年多年度予算の終了に伴い、2016年及び2017年はユーロ圏からの資金移転が減少し、投資もユーロ圏経済の不透明性及びロシア・ウクライナ危機の影響により減少すると予測している。他方、経済省も2015年の成長率予測を3.4%と発表したが、鉱工業生産は増加し、失業率は2015年末に10.8%まで減少すると予測している。

中央銀行、2015-2017年の平均成長率を3.4%と予測【9日】

**マクロ経済動向・統計**

**1月の輸出は4.4%増【5日】**

1月の輸出は、前年同月比4.4%増、前月比2.0%減となる125億ユーロとなった。ズロチ建てでは、前年同月比0.4%増、前月比5.8%増となる535億ズロチ。通常1月の輸出は前月比で増加するが今年は増加の割合が比較的少なくなっている。また、2

015年の輸出総額は、前年比9.0%増となる1,719億ユーロ、若しくは同6.9%増となる7,055億ユーロとの予想が出ている。同様に、2016年は、前年比11.6%増の1,919億ユーロ、若しくは同8.6%増の7,664億ズロチと予想されている。

**ポーランド産業動向**

**2月の新車登録台数は前年比約10%の落ち込み【5日】**

自動車調査会社 Samarによれば、2月の新車登録台数は、前年同月比で10.01%の減少となる32,302台であった。前月比では1.82%の減少であったという。2月までの累計でも前年同期比で4.41%の減少となった。

**1月の自動車生産は好調【9日】**

自動車調査会社 Samarによれば、国内にあるフィアット(ティヒ)、オペル(グリヴィツェ)、VW(ポズナン)の3工場の今年1月の生産台数は、昨年1月に比べ14.5%増の54,000台、これは前月比では35%の増加であった。これらのうち、最も伸びが大きかったオペルの工場では、前年比44.8%増となる10,333台を生産した。

**ゾルタックス社3Dプリンターの市場は49か国に【5日】**

ポーランドの3Dプリンター企業であるゾルタックス社は、プレスリリースの中でインド、グアテマラ、アイルランド、ウクライナ及びチェコでも販売が拡大され、49か国に展開されることとなったと発表した。また、同社は、独企業との協力により、MediaMarkt や Saturn といった独大手小売の店舗網を活用できるようになったことや世界各国の販売網とも協力体制を構築していることも強調している。

**ポーランドのビジネスサービス部門は世界有数の規模【10日】**

10日、ポーランド情報・外国投資庁(PAIIIZ)はこの10年間のポーランドにおけるビジネスサービス部門の状況についてまとめた報告書を発表した。同報告書によれば、2014年末時点でポーランド資本、海外資本あわせて659企業、雇用者は150,000人の規模であるという。業種別の企業数ではIT関連が239社と最も多く、次いでシェアード・サービス・センター、BPOであった。従業員数では、シェアード・

サービス・センターが57, 500人と最多となった。また、本調査に協力した Hays Poland 社によれば、ビジネスサービス部門の雇用規模は世界3位だという。

### NGKセラミックスポーランド、第二工場を建設【11日】

11日、日本ガイシ株式会社は、欧州における炭化

ケイ素製ディーゼル・パティキュレート・フィルターの需要拡大が見込まれることから、NGKセラミックスポーランド社の第二工場を新設し生産能力を増強することを決定した。同社プレスリリースによれば、第二工場は、グリヴィツェにある現在の拠点から東方約50kmのテチナバ工業団地(ドンブロヴァ・グルニチャ市)に建設される。本年8月に着工し、2017年の生産開始を予定している。

## エネルギー・環境

### エネルギー同盟構想に前向き【6日】

ポーランド政府は、欧州委員会が2月末に提示したエネルギー同盟構想を前向きに捉えているという。ポーランド経済省ディハ次官は、同構想が域内エネルギー価格の平準化等により、エネルギー供給側との交渉に資するものと述べている。ポーランドにとって、欧州委員会の提案は昨年トウスク前首相が提唱したエネルギー共同購入にも近いものであり、また、同次官によれば、域内のエネルギーインフラの整備は鍵となるものであり、危機時に連帯する仕組みやエネルギー源の多様化が必要であると述べている。

### 米企業が商業規模での天然ガス抽出に成功【9日】

米国の資源企業である Palomar Natural Resources 社のCEOは、新聞の取材に対し、2016年上期には商業規模でのガス抽出が可能となると述べている。ヴィエルコ・ポルスキェ県にある Szymanowo での抽出試験の結果が良好であったという。

### 2013年の最終エネルギー消費に占める再生可能エネルギーのシェアは11.3%【11日】

Eurostatによると、2013年のポーランドにおける最終エネルギー消費に占める再生可能エネルギーの比率は11.3%であった。EUで最も再生可能エネルギーの比率が高かったのはスウェーデンの52%、最も低かったのはルクセンブルグの4%であった。EU平均は15%となっている。

### 大統領が再生可能エネルギー法に署名【11日】

大統領府はコモロフスキ大統領が再生可能エネルギー法に署名したと発表した。EUは最終エネルギー消費に占める再生可能エネルギー比率を20%とすることを目標としている。ポーランドについては、15.5%と低い目標が設定されているが、従来のエネルギーに比べ導入コストが高いことから、必要な予算措置も規定されている。また、同法では、配電会社に対し再生可能エネルギーやバイオガスによる電力の購入義務も規定している。

## 大使館からのお知らせ

### ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

### 大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

### 東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成27年3月31日(火)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

## 文化行事・大使館関連行事

**【開催中】日本映画祭【3月15日(日)まで】**

ワルシャワの映画館 Iluzjon にて「日本映画祭」が開催中です。各映画入場料 14PLN。(英語・ポーランド語字幕付)

上映スケジュール:

12日(木)20:00 「遺体～明日への十日間」(君塚良一監督、2013年)

13日(金)20:00 「ももいろそらを」(小林啓一監督、2012年)

14日(土)19:45 「この空の花」(大林宣彦監督、2012年)

15日(日)19:45 「横道世之介」(沖田修一監督、2013年)

開催場所:ワルシャワ市イルジヨン映画館「Iluzjon」, ul. Narbutta 50a

詳細:<http://www.iluzjon.fn.org.pl/aktualnosci/info/450/przeglad-nowego-kina-japonskiego-w-iluzjonie.html>

主催:在ポーランド日本大使館、国際交流基金、イルジヨン映画館

**【予定】講演会「靴を脱ぎましょう!」【3月23日(月) 17:30~】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、ピスコルスカ千恵氏による講演会『靴を脱ぎましょう!』が開催されます。入場無料。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所:在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

**【予定】水曜映画上映会「ALWAYS 三丁目の夕日」【2月25日(水)17:30~】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、水曜映画上映会「ALWAYS 三丁目の夕日」が開催されます(日本語音声、英語字幕)。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所:在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

**【予定】学会「日本文化:映画・演劇・漫画・アニメーション」【3月18日(水)~20日(金)】**

ポズナン市にてアダム・ミツキエヴィチ大学ポーランド・古典文献学部映画・テレビ・ニューメディア研究所主催による学会「日本文化:映画・演劇・漫画・アニメーション」が開催されます。日本に関する様々な講演が予定されています。

開催場所:ポズナン市、アダム・ミツキエヴィチ大学ポーランド・古典文献学部、ul. Fredry 10

詳細:

<http://creativa.amu.edu.pl/studencko-doktorancka-ogolnopolska-konferencje-naukowa-kultura-japonii-kino-teatr-komiks-animacja/>

**【予定】国際武道基金ポーランドカップ【3月21日(土)】**

ウッチ市にてスレイ・ノ・モン基金主催による国際武道基金ポーランドカップが開催されます。

開催場所:ウッチ市、Obiekt Sportowy MOSiR, ul. Małachowskiego 5/7

詳細:<https://www.facebook.com/events/1544656445810748/>

**【予定】日本語 弁論大会【3月21日(土) 12:30~16:30】**

ワルシャワ大学旧図書館講堂にて、第36回日本語弁論大会が開催されます。ポーランド人日本語学習者による素晴らしいスピーチを是非聞きにおいでください。大会後、懇親会も予定されています。(入場無料)

開催場所:Old Library (Stary BUW) University of Warsaw, ul. Krakowskie Przedmiescie

詳細:[http://www.pl.emb-japan.go.jp/kultura/j\\_benron2015.pdf](http://www.pl.emb-japan.go.jp/kultura/j_benron2015.pdf)

**【予定】きょうの『世界』に耳をすます【3月28日(土)、29日(日) 午後5時開演】**

ワルシャワにて、Fundacja Sztuki Marebito主催にてチェスワフ・ミウォシユ『世界 ポエマ・ナイヴネ』(原題: „Świat, poema naiwne”)朗読の夕べ~ポーランド語原詩と邦訳詩による~を開催します。

開催場所:Muzeum Azji i Pacyfiku, ul. Solec 24, 入場無料

詳細:<http://posluchajswiata.com/jp>

**【開催中】 ロジカル・エモーション—日本現代美術展【～4月26日(日)】**

クラクフ市にて、クラクフ現代美術館主催による『ロジカル・エモーション—日本現代美術展』が開催中です。13名の日本人アーティスト、建築家、デザイナーによる絵画、彫刻、インスタレーション、写真、映像、デザイン、工芸、漫画、建築等様々なジャンルの作品が展示されています。

開催場所：クラクフ、クラクフ現代美術館、ul. Lipowa 4

詳細：<http://www.mocak.pl/logiczna-emocja-wspolczesna-sztuka-japonska>

**【開催中】 ポーランドの日本美術傑作展【～5月18日(月)】**

クラクフ市にて、日本美術技術博物館 Manggha 主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の東海道五十次浮世絵をはじめとする浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘るジャンルの日本美術品が展示されています。

開催場所：クラクフ、日本美術技術博物館 Manggha、ul. M. Konopnickiej 26

詳細：<http://manggha.pl/exhibition/26>

**読者からの投稿****【予定】パフォーマンス「ヒロシマ・サロン」の開催【4月12日 19:30～】**

ワルシャワの Teatr Powszechny im. Zygmunta Hübnera にて、ドイツ在住の俳優、原サチコさんが出演するパフォーマンス「ヒロシマ・サロン」が開催されます。

広島への原爆投下と福島での原発事故の二つの悲惨な出来事をテーマとしています。

開催場所：Teatr Powszechny im. Zygmunta Hübnera

ul. Jana Zamoyskiego 20, 03-801 Warszawa

詳細：

[http://www.powszechny.com/spektakle/hiroshima-salon,s664.html?ref\\_page=controller,index,action,repertuar](http://www.powszechny.com/spektakle/hiroshima-salon,s664.html?ref_page=controller,index,action,repertuar)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

**皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

**【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。

[news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp) (ご連絡は電子メールでお願いします。)